学校番号	1007

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自主教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

手芸の種類と手芸品の製作、それらを服飾へと活用する技術を学び、美的価値を高める衣生活の充実向上をめざしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
○手芸の種類と特徴、各種手芸の技法の基礎知識と実践的・体験的学習活動をとおして、理解を深め、知識と技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
○衣生活にかかわる産業の見方や考え方から製作工程に関する課題を見出して、手芸品の製作と服飾への活用について思考を深め、創造的な表現に努める解決方法を探ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
○実践的・体験的な学習をとおして、主体的かつ協働的に取り組み、家庭や地域社会活動に寄与する能力と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手芸の種類と特徴や各種手芸の技法に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。	・手芸品の製作工程および服飾への活用について関心をもって課題を見いだし、その解決をめざして思考を深めている。 ・衣生活に関する職業人の立場を想像し、工夫し創造する能力を身につけている。	衣生活に関する産業に関心をもって、主体的かつ協働的に取り組み、家庭や地域社会の充実向上をめざして取り組む態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	手芸	・手芸の種類と特徴 ・手芸の変遷 ・手芸の技法(刺しゅう) ・手芸品製作実習	a:・手芸の変遷を理解する。 ・手芸の種類と特徴、その技法について理解している。 ・刺しゅうの技法が身についている。 b:・課題製作について、自分が表現したいイメージを持つことができる。 c:・家庭・社会を取り巻く衣生活に関する課題について関心を持ち、意欲的に学習に臨んでいる。	・授業観察 ・製作作品 ・定期考査	・授業観察 ・製作作品 ・レポート ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・自己評価
二学期	手芸と服飾	・服飾材料 ・手芸の技法(刺しゅう・織物) ・手芸品製作実習	a:・服飾材料について学び、衣服や服飾雑貨・小物類に適した材料選択と手芸方法を理解し、その基礎的な技法を活用することができる。 b:・手芸の技法を活用して美的価値およびオリジナリティを高める製作工程について考えをまとめ、意見交換や発表を行っている。 c:・家庭・社会を取り巻く衣生活に関する課題について、個人またはグループで積極的に意見交換し、意欲的に協働学習しようとしている。	・授業観察 ・製作作品 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・グループワーク ・製作作品 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・グループワーク ・自己評価
三学期	手芸品製作	・手芸の技法(刺しゅう・編物) ・手芸品製作実習	a:・編物とその技法を理解する。また、その技法を活用することができる。 b:・職業人の視点になって、服飾材料を活用した手芸品の製作工程を考え、表現することができる。 c:・家庭・社会を取り巻く衣生活に関する課題について関心を持ち、意欲的に学習に臨んでいる。	・授業観察 ・製作作品 ・定期考査	・授業観察 ・製作作品 ・レポート ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度